

カーボンのクレジットを活用した都市ガスのオフセットメニューの総称 「カーボンオフセット都市ガス」の使用開始について

東京ガス株式会社

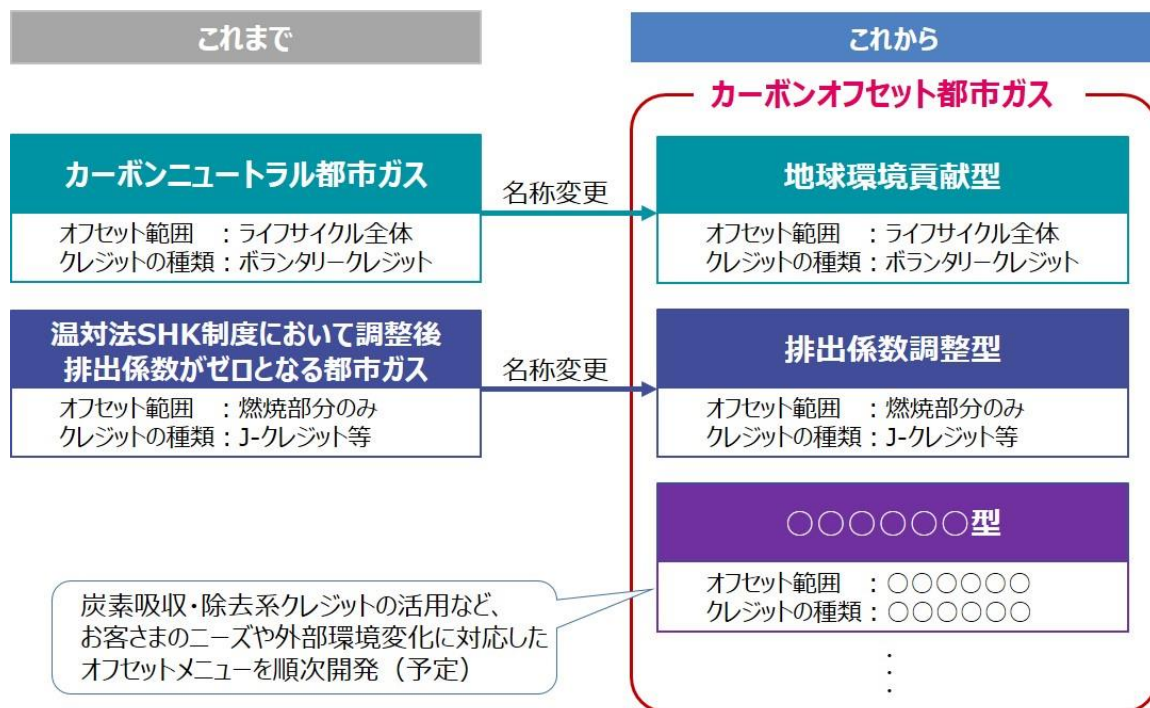
東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）と東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社（社長：小西 康弘、以下「TGES」）は、2024年9月2日より、カーボンのクレジットを活用した都市ガスのオフセットメニューの総称をカーボンオフセット都市ガス^{*1}と新たに設定します。これに伴い、現行商材のカーボンニュートラル都市ガス^{*2}およびSHK制度における調整後排出係数がゼロとなる都市ガス^{*3}は、いずれもカーボンオフセット都市ガスのメニューの一つとなることから、名称を変更します。

なお、カーボンオフセット都市ガスの呼称は今後、ガス業界全体で使用していきます。

カーボンオフセット都市ガスは、都市ガスのライフサイクルで発生する温室効果ガスの全部または一部を、国内外の様々なプロジェクトで削減・吸収したCO₂で相殺すること（カーボンオフセット）により、地球規模でのCO₂削減に貢献可能な都市ガスです。お客さまのニーズおよび外部環境の変化に応じたオフセットメニューを順次開発していくことを想定し、それら未来の商材も含む多様なメニューを包含する総称として使用します。

なお、カーボンオフセット都市ガスは事業ブランドIGNITUREのソリューションとして、お客さまにお届けしていきます。



<新たな総称「カーボンオフセット都市ガス」の全体像、および現行商材との関係>

東京ガスグループは、経営ビジョン「Compass2030」で「価値共創のエコシステム^{*4}構築」ならびに「CO₂ネット・ゼロへの挑戦」を掲げています。一人ひとりの暮らしから地域社会にいたるまでの多様な課題を解決するさまざまなサービスを創出・提供し、お客さまとともにカーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

<参考>

■ロゴマーク



炎はCO₂ 排出、葉はCO₂ 削減、それらが循環するようなデザインでオフセットを表現。葉に矢印を加えることで、CO₂削減に向けた強い意志を示す。円の部分を東京ガスらしいモチーフであるLNG船のタンクに見立て、東京ガスによる未来へ前進する取り組みであることを表す。

■キャッチコピーおよびステートメント

未来のための、今日のガス。

わたしたち東京ガスグループは、エネルギー事業者として責任ある脱炭素社会への移行（トランジション）を「天然ガスによる低炭素化」と「ガス・電気の脱炭素化」の両輪で進めています。

省エネ・燃料転換・スマートエネルギーネットワーク等の天然ガスの高度利用によりCO₂排出量の削減に取り組むとともに、カーボンクレジットでオフセットされたガス「カーボンオフセット都市ガス」の提供で、地に足の着いたトランジションをリードしていきます。

カーボンクレジットは、必要な場所に必要資金を循環させる仕組みをつくることで、広く世界の社会課題にアプローチできる一つの手段です。「カーボンオフセット都市ガス」の利用が広がることで、持続可能な社会への転換を進めることができます。

東京ガスグループでは、国内外の政策やビジネスの動向を的確に捉え、クレジットの品質及びクレジットの管理・運用プロセスの両面で信頼性の高いカーボンオフセット商材を取扱っています。

そして今後も、お客さまのニーズ及び外部環境の変化に応じた商品メニューを順次開発し、お客さまと社会の脱炭素化への取り組みに貢献してまいります。

■地球環境貢献型の供給証明書^{*5}（イメージ）



■ソリューション事業ブランド「IGNITURE（イグニチャー）」^{*6}について

IGNITURE

IGNITE YOUR FUTURE

東京ガスとTGESは、「ソリューションの本格展開」に向け、2023年11月30日、ソリューション事業ブランド「IGNITURE」を立ち上げました。「IGNITURE」の下で展開するソリューションにより、ご家庭、法人、地域・コミュニティのお客さまが、「最適化による経済性・利便性・効率性向上などでさらに豊かな未来」と、「脱炭素・レジリエンス向上などでサステナブルな生活・事業」を、無理なく両立できます。

*1：カーボンオフセット都市ガスの詳細は[こちら](#)

*2：天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスをボランタリークレジットでオフセットすることで、燃焼しても地球規模ではCO₂が発生しないといみなすLNGを活用した都市ガス

*3：燃焼によって発生するCO₂をJ-クレジット等でオフセットすることで、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における調整後排出係数がゼロとなる都市ガス

*4：多くの企業が、それぞれ強みを持つ領域の技術・ノウハウ・知見を持ち寄り新たな価値を創出していく事業生態系

*5：地球環境貢献型では供給証明書、排出係数調整型では供給通知書を発行

*6：IGNITUREの詳細は[こちら](#)

以上